

一般質問事項一覧

6月 7日 (月)

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／ 7日 (月)	高田 (新風会・公明)	一問一答方式	<p>1 南谷副市長の行政経験について</p> <p>② 副市長に就任される以前の行政経験を尋ねる。</p> <p>② 副市長に就任される以前の大野市に対する印象と現在はどうであるかを尋ねる。また、大野市政についてはどのように捉えているのかを尋ねる。</p> <p>③ 大野市政に対し、自身の経験をどう生かし携わっていくのか、決意を尋ねる。</p>
			<p>2 学校教育について</p> <p>3月定例会において、教育長の教育行政についての所信を述べられたが、魅力ある学校づくりを推進していく重要事項として、確かな学力を育む学校づくりと安心して通える学校づくりの2本柱でさらなる充実を図るとのことであった。その一つである確かな学力を育むについて伺う。</p> <p>① 平成29年度に告示され、令和2、3年度に改訂された学習指導要領であるが、どのような改善を行ったか、また力を注いでいるのか、児童・生徒の成長にどのような変化を期待しているのかを尋ねる</p> <p>② 昨年12月に大野市独自の学力調査をされたが、結果をどのように捉えたかを尋ねる。</p> <p>③ G I G Aスクール構想の進捗状況を尋ねる。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／7日（月）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 ゼロカーボンシティについて</p> <p>5月26日に温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロにする国の目標を明記した「地球温暖化対策推進法の改正案」が参議院本会議で全会一致で可決され、成立した。今後、脱炭素に向けて、国を挙げての対策が加速されることになる。また市長は「国・地方脱炭素実現会議」の構成員となり、本市は本年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言した。そこで、次の点について質問する。</p> <p>① 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、本市では、中長期的にどのような方向性で推進していくのか。</p> <p>② 国の具体的な施策が決まるまでに、本市としてできることがあると考えるが、具体的にどのようなことに取り組んでいくのか。</p>
			<p>2 道の駅「越前おおの荒島の郷」について</p> <p>道の駅「越前おおの荒島の郷」が開駅してから1カ月以上が過ぎた。予想を上回る来場者があり、順調な滑り出しと評価する声も多いが、反面、まだまだ改善の余地があるという声も聞いている。そこで、次の点について質問する。</p> <p>① 地域振興施設の直売所では、大野ブランドや大野らしさを生かした商品が少ないのではないかという印象を受けるが、その点についての現状と今後の対策を尋ねる。</p> <p>② 道の駅「越前おおの荒島の郷」への来場者とその前後、大野市街地や市内の他の観光施設へ回遊してもらうことが重要であるが、その点についてどのような対策を取っていくのか。</p>
			<p>3 福井県ドクターヘリの運航について</p> <p>5月24日より福井県ドクターヘリの運航が開始された。その初日から大野市内の救急患者がドクターヘリによって搬送され、適切に処置されたと聞いている。総合病院までの搬送距離が長くなる大野市では今後もドクターヘリの活用が予想される。そこで、次の点について質問する。</p> <p>① ドクターヘリを要請し患者を病院に搬送することに関して、条件、流れ、負担する費用について尋ねる。</p> <p>② 市が県にドクターヘリを要請したこれまでの現状について尋ねる。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／7日（月）	ダニエル（無党派）	一問一答方式	<p>1 大野市小中学校における学校教育について</p> <p>現在、公立学校を運営することは問題が多岐にわたることもあり、非常に難しい中で教育行政がなされていることと感じる。コロナウイルスがいまだ収束の道筋が見えない中、私たちの関心が学校のコロナウイルス対策に集まる傾向があるのは理解できる。しかし、同時に長年学校教育が抱えてきた問題を見落とすべきではないと思われる。それは全国津々浦々の公立学校を見ているとさまざまな問題を抱え、その中には死者が出るような事件や恥ずべき不祥事も少なくない。残念な事件が起きる前に、事前に注意喚起を行うべく、以下の項目について質問していきたい。</p> <p>① 各学校の校則をホームページに上げるべきではないか。</p> <p>時折、全国紙や福井県の地元紙において「ブラック校則」なるものの存在について取り上げられている。学校現場で働いておられる教員の方々、また教育委員会で各学校の管理をされている方々は、生徒と教員が話し合って校則を決めていると言うが、そのプロセスは学校外の人には見えない、いわゆる「密室」である。人権侵害に当たる校則が存在するとの報道が続く昨今、頭髪や下着の色等、学校のルールは当事者で作るべきで、各学校の校則にいろいろ特色があってもいいと思うが、なぜ決められた校則が公開されていないのか、その理由を伺いたい。</p> <p>② 児童・生徒の登下校時のかばんの重さについて、各学校にどのような指導をしているのか。</p> <p>日本の児童・生徒のかばんを見ると、非常に重そうに見えることがよくある。あまりに重いかばんは児童・生徒の肩や腰に悪影響を及ぼすと思われるが、教育委員会として登校、下校時のかばんの重さについて、各学校にどう指導しているか。</p> <p>③ 給食に牛乳が出されているが、そもそも牛乳は本当に「健康食」なのか。</p> <p>インターネット検索で牛乳関連の書籍を探すと、牛乳の危険性を指摘している書籍が多く、医師や専門家から国内外で出版されている。私自身も牛乳は体に良いと思っていたが、最近ではそうではない可能性も捨てきれないでいる。牛乳は給食に毎日出されているが、牛乳は体に良いと自信を持って言える根拠は何なのか伺いたい。また給食には週4回程米飯が出されているようだが、普通に考えて牛乳よりお茶のほうが合うのではないかと思うが教育委員会の見解を伺いたい。</p> <p>④ 大野市教育委員会は教科書を主体的に選んでいるのか。</p> <p>4年に1回各教育委員会が自治体で使用する教科書を選定しているようだが、福井県ではどの自治体も教科書選定において、各自自治体の教育委員会が独自の判断で教科書を選んでいるようには見えず、足並みをそろえているように思えるがその理由を伺いたい。さまざまな教科書会社が教科書を出版しているにも関わらず、特定の一社の比率が非常に高いが、その理由も併せて伺いたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日 (月)	ダニエル (無党派)	一問一答方式	<p>2 大野市立図書館の運営について</p> <p>私が小さいころから慣れ親しんでいる大野市立図書館について、毎年4,000万円近い予算が使われているのに、福井市図書館や福井県立図書館に比べ蔵書数が少なく、かねてから使い勝手が悪いように思える。読書に親しむことは、児童・生徒の学力に密接につながると思うが、車で遠くに行けない17歳以下の市民は県立図書館や福井市の図書館に簡単には行けない。そこで次の項目について伺いたい。</p> <p>① 県立図書館から取り寄せる図書を今よりも迅速に輸送できるサービスを始めてみてはどうか。</p> <p>② 若い人が気軽に本を読めるようにするべく、電子書籍の貸し出しやオーディオブックの貸し出しを検討してはどうか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 7日(月)	伊東(新風会・公明)	一問一答方式	<p>1 食品ロス削減について</p> <p>持続可能な世界の開発目標であるSDGsの12番目「つくる責任・つかう責任」には、「2030年までに世界の食糧廃棄を半減する」という目標が掲げられている。政府は、食品ロスを削減するため、2019年10月に食品ロスの削減の推進に関する法律(略称：食品ロス削減推進法)を制定し取り組みを開始した。</p> <p>大野市においては、本年3月に「大野市ゼロカーボンシティ」を宣言し、2030年までの地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおり、持続可能な社会の実現に向け新たな施策の検討を進めるとしている。</p> <p>社会全体でSDGsの実現に取り組むという観点に立つならば、身近な社会問題として食品ロスの削減に向け、まだ食べることができる食品については廃棄することなく、できるだけ食品として活用していくことが重要である。そこで次の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品ロスに関する市民の理解、周知について本市の見解を伺う。 ○ フードドライブについて本市の見解を伺う。
			<p>2 市内出身の大学生支援について</p> <p>長引く新型コロナウイルスの影響で、大野市から県外の大学などに進学した学生を取り巻く環境は厳しさを増している。アルバイトの仕事を失い、さらに親からの仕送りも難しくなるなど日々の生活に不安を抱える学生が増えている。その上、日本の学生の約2.7人に1人が貸与型奨学金を利用しており、卒業後の奨学金返済が重くのしかかっている人は少なくない。自治体が奨学金返還の支援を行うことで、地元への回帰や経済活動の促進、少子化対策への貢献など、地方創生につながることを期待されることから、次の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市にUターンする学生への奨学金の返還支援について本市の見解を伺う。 ○ コロナ禍で帰省できない、生活に困窮している学生の支援として県外で暮らす市内出身の大学生らに本市の特産品を贈ってはどうか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 7日(月)	高岡(双葉会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就任されて3年、管内商業・工業の現状認識と支援について、産業の現状認識と育成・支援に対する市長の考えを尋ねる。 ○ 人口減少の現状認識と対策効果はどうか市長の考えを尋ねる。 ○ 不祥事の嵐において第三者委員会の答申がまもなく提出される。幾度となく綱紀粛正を行っているが、職員の事務事業に対する取り組みがどのように変わったのか市長の見解を尋ねる。 ○ 大野市高速交通アクションプログラムについては、中部縦貫自動車道の供用開始日が記入されたのを機に書き直したが、今回の越美北線減便についての市長の見解と対処策はどうか尋ねる。 <p>2 教育長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今国会で成立したわいせつ教員法、すなわち教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律についてどのように認識しているのか尋ねる。 ○ 大野市小中学校再編計画(案)について説明会を開催していると聞いているがその説明内容がどのようなものか尋ねる。 ○ 管内の学校におけるクラブ等の活動状況を尋ねる。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</p> <p>① PCR検査・抗原検査体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府は感染者が増えると自粛要請を行い濃厚接触者の検査を行う。しかし感染者数が少なくなると自粛要請を解除して検査回数も減らし、また感染拡大するという感染拡大の波を繰り返している状況にある。無症状者も含めて、高齢者施設、医療機関、障害福祉施設などで定期的な検査を行い新型コロナ封じ込めに全力を尽くすべきだと思うが市の見解と検査体制について答弁を求める。 <p>② 新型コロナワクチン接種体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府は高齢者の2回目のワクチン接種を7月末までに完了するとしている。市も同様に7月末までの完了を目指しているとのことだが、希望者に確実に接種するためのワクチンの入荷予定、接種体制の状況について答弁を求める。 16歳から64歳のワクチン接種、また12歳から15歳のワクチン接種の今後の予定について答弁を求める。 <p>③ 東京オリンピック開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府は東京オリンピックを開催するとしているが、さらにコロナ感染が広がれば大野市民にも影響が出ると思われる。オリンピック開催について市の見解を求める。 <p>④ 75歳以上の医療費窓口負担を2割に引き上げることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過で安心の医療を求める国民の声に逆らい、高齢者の健康と暮らしに大きな影響を与える法案が参院で可決・成立された。市民に大きな影響を与えることになるが市の見解を求める。 <p>⑤ 十分な補償と生活支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種大会やイベント、県外への移動の中止などにより利益が激減している市内の事業者等の実態はどのようなものか。またその対応、支援についてどのように考えるのか。 コロナ過で疲弊する市民への経済的支援策の拡大が必要であるが市の見解を求める。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 8日 (火)	川 端 (清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市民俗資料館について</p> <p>① 3月定例会以降の状況について、土地所有者との協議の進捗はどうか。</p> <p>② 事業を進めていく上で、民俗資料館の歴史的・文化的な価値や移転の必要性など、その事業内容を市民に周知していかなければならないと考えるがその対応はどのようにするのか。</p> <p>③ 民俗資料館の移転予定地である旧大野簡易裁判所跡地の土地を取得するに当たり、国との契約が交わされているが、その契約では旧大野簡易裁判所建物の扱いはどのようにしているのか。</p> <p>④ 仮にこのまま旧大野簡易裁判所建物を残した場合の大野市としての考えを聞きたい。</p>
			<p>2 越美北線について</p> <p>① 越美北線の利用状況はどうか。また新型コロナウイルス感染症の影響はどうか。</p> <p>② 越美北線を維持していくための大野市の補助制度には、どのようなものがあるのか。</p> <p>③ 大野市高速交通アクションプログラムへの影響はどのようなことが考えられるのか。</p> <p>④ 越前大野駅の無人化の話もあるようだが理事者の考えを聞きたい。</p> <p>⑤ 越美北線を利用して本市を訪れる観光客に対して、市内各駅から道の駅「越前おおの荒島の郷」や道の駅九頭竜へ行くための自転車などを利用するアクセスについて検討してはどうか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 中部縦貫自動車道の県内全線開通に向けて</p> <p>○ 令和4年度に中部縦貫自動車道の犬野インターから（仮称）和泉インターまでの開通、さらに令和8年（2026年）春に県内全線開通が公表され、大野市においてはこのチャンスを生かそうと色々な事業が展開されている。</p> <p>そのような中で本年4月22日には道の駅が開駅した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内、市外に分けた来場者数が分かれば聞きたい。 ・ 直売所やフードコートなどの売上高はどれくらいあったのか。またアウトドアショップのモンベルへの来場者数や売上高が分かれば聞きたい。 ・ 見えてきた課題やそれに対する対応・対策があれば聞きたい。 <p>○ アウトドアショップのモンベルと連携した道の駅を拠点とした五つのサイクリングロードが造成されているがその利用状況を聞きたい。また県内で初めて「ジャパンエコトラック」に登録をされたが今後の展開をどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>○ 大手旅行会社と連携した観光体験メニューが造成されているが、どのような利用状況なのか聞きたい。また「じゃらんnet」掲載の12件以外のメニューの扱いはどのように対応しているのか聞きたい。</p> <p>○ 防災道の駅の認定後の活動方針があれば聞きたい。</p> <p>○ 道の駅に隣接する旧蕨生小学校の利活用の考えがあるのであれば聞きたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>2 第六次大野市総合計画等について</p> <p>○ 本年4月から第六次大野市総合計画が動き出した。SDGsの考えを取り入れつつ、中部縦貫自動車道県内全線開通や北陸新幹線福井・敦賀開業といった高速交通体系の転換期を見据え、将来にわたり持続可能なまちづくりの実現を目指している。また第六次大野市総合計画の特徴をいかに市民に周知しイメージして取り組んでもらうのが大切だが、市民の受け止め方についてどのように理解されているのか。</p> <p>○ 市長の提案理由の説明では「SDGsの推進やニューノーマルへの適応などを盛り込んだ事業が市民との協働で始まりました」とあるが、具体的にはどんな事業か。</p> <p>○ 地域づくり分野の説明で「人口減少、少子化・高齢化の進展により、地区団体の役員の担い手が不足し、地域で活動している方の負担感や不安感が大きくなっている。地域課題を話し合う場をどのように設けてどのように進めるとよいか、各地区に説明を行ってきた。支え合うコミュニティの形成を図りずっと住み続けられるまちとするため、今後も話し合いを継続し10年先を見据えた具体的な取り組みにつなげる」とあるが、自治会（集落）を将来に向かって持続可能な運営ができるよう、自治活動の低下に対する対応、対策、支援などをなるべく早く手を打っていかねばならないと考えるが所見を伺う。</p> <p>○ 不祥事が続いた大野市において市民の信頼を失墜したことは残念でならない。現在第三者委員会で慎重な審査が進められており、委員会での意見を参考に職員の倫理規程の改正や手引きの作成作業が並行して進められているとのことである。そのような中で公務員の働き方改革として、職員の兼業や副業についてどのような考えか伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	榮（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市における家族農業の10年について</p> <hr/> <p>私は国連が決議した「家族農業の10年」について質問した。その答弁によると、国内の農業経営体138万経営体のうち134万経営体、98％が家族経営体であり、大野市でも農業経営体全体の96％が家族経営体であり、真に家族経営体が農業を支えているとの認識を示しており、この6月議会の補正予算説明でも、「農業振興について」新たな取り組みや規模拡大の県や国の認定を採択されたものの補正予算は計上するが、地域農業と家族農業の視点はどこにあるのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／8日(火)	林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p>1 脱炭素社会の実現と持続可能な都市づくりについて</p> <p>先月26日、温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロにする政府目標を明記した改正地球温暖化対策推進法が成立した。これにより市町村は、再生可能エネルギーの導入目標を開示する努力義務を負う一方、再生可能エネルギー促進区域の指定や優良事業の認定による手続きの簡素化を進められることとなった。</p> <p>政府は、2030年時点における発電手法の割合を示す電源構成を今年の夏にも示すとしているが、再生可能エネルギーの割合は現状から倍増させる見通しであると報道されている。</p> <p>大野市では、都市計画の決定や変更の指針となる都市マスタープランの改訂作業が行われており、本年度は分野別の都市づくりの方針や地域別構想、都市マスタープランを実現化する方策が検討されることとなっている。また、「大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～」の見直しも予定されている。</p> <p>本年3月に大野市ゼロカーボンシティを宣言したが具体的な取り組みはこれからである。都市のマネジメント方針を明らかにした上で、SDGsの推進やニューノーマルへの適応といった視点を加えて、施策を集中的に展開していくことが求められている。市民や企業にとって「誇れるまち」だと実感してもらい、一緒に行動する仲間になってもらうためにも大変重要なポイントであると考え、次の3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」実現に向け、市長が描く大野市の都市計画、都市像とはどういったものか。 ○ 都市マスタープランに掲げる分野別の都市づくりのうち、交通ネットワークづくりと水を生かしたまちづくりに関する現状分析と改訂方針について聞きたい。 ○ 再生可能エネルギー促進区域を都市マスタープランに位置付け、脱炭素に向けた設備投資促進や企業誘致につなげてはどうか。